



# 週報

2011～2012年度 国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

No.0924 2012.3.26 第33例会

## ◆本日のプログラム

3月26日  
「PETSの報告」  
西山 隆三郎 次期会長

## ◆理事・役員(2011.7～2012.6)

|           |       |          |        |            |        |
|-----------|-------|----------|--------|------------|--------|
| 会 長       | 藤岡 温  | 会 計      | 岡本 和夫  | 理事・親睦活動    | 小松 忠男  |
| 副 会 長     | 花房 茂  | 理事・職業奉仕  | 丹治 康浩  | 理事・プログラム   | 相原 利行  |
| 幹 事       | 原 全伸  | 理事・社会奉仕  | 大饗 よし江 | 理事・ロータリー財団 | 岡村 秀男  |
| 副 幹 事     | 樋口 芳紀 | 理事・国際奉仕  | 原田 徹美  | 直 前 会 長    | 川西 熊雄  |
| 理事・S.A.A. | 山田 喜広 | 理事・新世代奉仕 | 小松原 隆代 | 次 期 会 長    | 西山 隆三郎 |
| 副 S.A.A.  | 河田 肇  | 理事・会員増強  | 大賀 章弘  |            |        |

## ◆次回のプログラム

4月9日  
外部卓話  
岡山理科大学  
教授 西村 次郎 氏



Reach Within to Embrace Humanity

## 岡山北西ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ  
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階  
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288  
E-mail:hokusei@6rc.jp  
<http://www.okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ  
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

地区スローガン

「ロータリーは人をつくる」

クラブスローガン

「親睦の絆で高める奉仕の心」

●例会場  
岡山市北区駅元町1-5  
ホテルグランヴィア岡山

●例会日  
毎週月曜日  
12:30～13:30

## 前回3月19日の例会記録

### 出席の状況

会員数 52名（内出席免除 5名） 出席者数 30名 欠席者数 22名

出席率 61.22% 前々回訂正 87.76%

欠席者 相原, 藤原, 福元, 花房, 原田, 日笠, 入江, 川本, 小橋, 小松原, 中西(敏), 西岡, 岡村, 末吉, 高橋(裕), 竹本, 丹治, 富部, 山田, (平野), (市川), (中西(広))

### ビジター

貝畑 雅二 様 ・ 梶谷 俊介 様 (岡山RC)

### S . A . A .



氏房会員

ゴルフ同好会で、初めて優勝できたので  
スマイルします。



樋口会員

昨日、百間川マラソンに参加してきました。  
直前まで雨でしたがスタート時には、  
晴れ! 楽しく走れました。前回、西大寺  
マラソンを欠席したので、今回はその分  
もふくめて頑張りました。

以上,2件 5,000円(累計 760,500円)

### 会長報告

会長 藤 岡 温

ようやく春めいてきましたが、それに併せて花粉症も出てきました。私の場合は、特に左目が痒くなり、あとはくしゃみと鼻水ですが、お医者さんに行ったことがないので、薬で治るものかどうか分かりません。花粉症というのは、以前はなかったものなのか、或いはあったが認知されていなかっただけのことなののでしょうか。それにしても我々の生活環境の中では目に見えぬ形で複合汚染やアレルギー物質が少なからず存在します。高度成長期の公害垂れ流し、それに対する規制、さらに新たな形へと、汚染の質はより深くなってきているように感じます。これらに対する完全遮断は無理でしょう。とすれば、適切な規制は当然必要ですが、我々の側もスイッチを多少ゆるめて適当な付き合いをするほかないと思います。この度のがれき問題も、受け入れ側が余り神経質になり過ぎることなく、協力していけないものかと思っています。

### 幹事報告

幹事 原 全 伸

- ・大槌中学校への教材支援の件ですが、業者からの請求金額は708,435円でした。内容を確認のうえ支払いの手続きをとりました。なお、贈呈式につきましては当初の予定を変更し、復興まならぬ現地の事情を踏まえ、当クラブからの訪問は取りやめ大槌RCを通じて、目録をお渡しする方向で調整をさせていただきます。ご了承ください。
- ・インターアクト地区協議会が4月21日(土)22日(日)に倉吉で開催されます。つきましては、理大附属高校と調整のうえ参加の申し込みを行います。

内部卓話

「近江探訪」 岡本 和夫 会員

近江は、いにしえより数々の歴史の裏舞台に登場してきた。ことに室町末期より、天下をうかがう武将による戦や築城、そして行軍の通過点となり、唐橋ひいては近江を制する者は天下を制する観があった。現在では交通の結節点あるいは京阪神のベッドタウン化などで人口が増加し、また1400万人の水がめや近來の環境問題、隣国若狭の原発問題などで注目を浴びている。



近江一國が滋賀県であり、面積は4011km<sup>2</sup>でその1/6は琵琶湖である。近淡海（ちかつあわうみ）の縮め言葉としているが、実に想いが広がる名ではなかろうか。琵琶湖は古来より鴎海（におのうみ）といわれていた。鴎とはカイツブリのことである。周囲241km、面積は670km<sup>2</sup>で淡路島（593km<sup>2</sup>）より広いが、戦中戦後の食糧増産計画により、内湖の干拓が進み面積は減ってきている。淀川水系に属する一級河川で、バイカル湖や死海、タンガニーカ湖と同じ構造湖である。湖面の標高は84m、京都駅周辺より約60m高い。一時石山寺近くの幻住庵に流寓した芭蕉も「四方より花咲き入れて鴎の海」「五月雨や鴎の浮き巣を見に行かむ」などと琵琶湖の情景を詠んでいる。

さざなみや 志賀の都は 荒れにしを 昔ながらの 山桜かな（『千載和歌集』平忠度）

さざなみの 志賀の唐崎 幸くあれど 大宮人の 船待ちかねつ（『万葉集』柿本人麻呂）

「さざなみ」は志賀、比良、長等の枕詞で湖西の地をさす詞であるが、「楽浪」という字があてられることもある。平壤あたりにあった漢代の楽浪郡で、朝鮮を経由して、秦氏、漢氏が湖西の地に渡来してきたことによるのであろう。下って667年、白村江の戦いに敗れた中大兄皇子（のちの天智天皇）は飛鳥から遷都し、近江京を造営したが5年後、子の大友皇子（弘文天皇）が壬申の乱に敗れ再び飛鳥の地へ都は移る。そして聖武天皇の代の740年以降、難波京、恭仁京、紫香楽京とめまぐるしく都は移されていく。また五畿（山城・大和・和泉・河内・摂津）七道、八道のうちの北陸道、東山道、東海道へ至る出発点であり、防護の三関（愛発・不破・鈴鹿）が近江国の外（越前・美濃・伊賀）に設けられていた。

湖東湖北の地は、鎌倉室町の時代より守護佐々木氏によって治められていたが、室町末期より江北は京極氏、江南は六角氏に代わり、そして下剋上あるいは侵略によりそれぞれ浅井氏、織田信長・蒲生賢秀氏郷親子にとってかわった。蒲生氏郷は幼少の頃より信長にその才をみこまれ、次女冬姫を妻として迎えた。日野の地に城を構え、のち松坂、会津若松へと移封していく。領民、家臣を大事にし、近江商人が後を追いつつ商工業が栄えていくことになる。1595年文禄の役で肥前名護屋へ出陣中に病を得、死することになる。参陣途上、近江武佐にて故郷日野を偲んで詠んだ歌「思いきや 人の行方ぞ 定めなき わが故郷を よそにみんとは」が有名である。

村として統一された上質のたたずまいを残しているところとして、国友町、五個荘金堂があげられる。1543年種子島に伝わった鉄砲は、堺、根来と国友で生産されるようになる。折から戦さが多く需要が伸びて、国友村の鍛冶屋は栄えていく。鉄砲の製作は俗に「張る」といわれる。心棒のまわりに鋼板を荒巻き、蔓巻きに張っていく。銃身を作る「鍛冶師」、銃床を作る「台師」、カラクリを作る「金具師」の三者が分業して1挺の鉄砲を作っていくのである。また幕末の天保年間には、国友一貫斎が反射望遠鏡を製作し天体観測を行っている。国友村は長浜市の北郊、姉川沿いにある。

五個荘金堂は六角氏が城を築いた叡山（きぬがさやま）の東にあり、幕末から明治にかけて活躍した外村家、藤井家、中江家などの商家の広大な屋敷が建ち並んでいる。そして集落の広さの割に実に結構なたたずまいの大城神社、五個荘小学校の校舎や自治会館が建っている。裕福な村の証である。

戦中戦後の食糧増産計画の一環として、琵琶湖周辺の内湖の干拓があった。近江八幡の東、安土山の北に大中の湖（昭和39年干拓）、西の湖、小中の湖（弁天内湖、伊庭内湖 昭和21年干拓）が広がっていた。安土城からは眼下に葦の茂った広大な内湖、そして鶴翼山その向こうには鴎の海が広がっており、信長の天下統一の野望、構想が練られたことであろう。

慶長年間に琵琶湖の南部から8ヶ所の名所が選定され近江八景としている。

石山秋月（石山寺）、瀬田夕照（瀬田の唐橋）、粟津晴嵐（粟津原）、矢橋帰帆（矢橋）、三井晩鐘（三井寺）、唐崎夜雨（唐崎神社）、堅田落雁（浮御堂）、比良暮雪（比良山系）

近江八景を採り入れた庭園として、丸亀の中津万象園、彦根の幻宮園がある。

江戸後期の文人大田南畝が琵琶湖を訪れた際、「近江八景の題8つすべてを31文字の歌の中に入れて詠ん

だら駕籠代をただにしてやる」と駕籠屋に言われて詠んだ。

のせたからさきはあわづかただのかごひらいしやまやはせらせてみい

三井寺は園城寺といわれ、天台寺門宗の総本山である。開基は天智天皇の孫、大友与多王で、天武天皇が園城寺と命名（莊園城邑を投げ打って建立しようとする志に感服したため）。霊泉が天智、天武、持統天皇の産湯に使われたため「三井寺」と称される。寺門派（円珍派）と山門派（円仁派 延暦寺）の対立が繰り返行われた。

石山寺は747年良弁の開基によるもので、東寺真言宗。紫式部が参籠の際、『源氏物語』の着想を得たとされる。『蜻蛉日記』『更級日記』『枕草子』にも登場する。

坂本、信楽、彦根や甲賀の里など他にも案内したい所は多いが、紙面の関係上割愛させていただく。琵琶湖を内蔵し、伊吹山、三上山（近江富士）といったシンボリックな山を配した近江は四季を通じて景観がよい。この美しい自然がいつまでも残って欲しいものである。

## クラブ情報

### 「第9回理事・役員会」議事録

1.日 時 平成24年3月5日〔月〕13:30～

場 所 ホテルグランヴィア岡山 3階「エメラルド」

2.出席者 藤岡 温(会長) 花房 茂(副会長) 原 全伸(幹事) 樋口芳紀 河田 肇  
大饗よし江 原田徹美 小松原隆代 大賀章弘 相原利行 川西熊雄 岡本和夫  
西山隆三郎

欠席者 山田喜広 丹治康浩 小松忠男 岡村秀男

3.会長挨拶

4.審議事項

1) 3月、4月、5月の予定について ※原案通り承認

2) 東日本大震災に対するクラブ単独支援について ※承認

※募金の集め方に関しては、例会で発表した通り次年度、次々年度と会費請求時に集金し、不足分を今期特別会計から支出。

現地訪問について協議の結果、大饗社会奉仕委員長に日程を含め現地との調整をお願いすることとし、旅費については、クラブ負担を検討。

3) 京都朱雀RC故今安会員を偲ぶ追悼例会への出席について

京都朱雀RCより案内文が届いたので配布、有志の出席を募る。

4) R財団と米山奨学金への個人寄付の案内文について

会員から個人寄付に関する質問があったので、回答用資料を作成、配布することとした。

5) その他

※ソフトボール同好会で、お子様を交えて大会を開催してはとの意見があり、同好会で検討することとした。

5.報告(連絡)事項

1) 新地区補助金プロジェクトについて

2011—12年度の報告書をまとめ提出した旨、報告を行った。

次年度の取組みについては、次週の3月12日の被選理事役員会で検討することとした。

以上

## 例会情報

本日のメニュー（3月26日）

お魚のパイ包みスープ アニスと軽いサフランの香り

豚肉のトマトとオリーブのラグー 季節野菜とビーンズ添え

ミックスグリーンサラダ シェフ特製デザート コーヒー ホテル特製パンとバター

次回のメニュー（4月9日(ヘルシーメニュー)）

すずきのポワレと筍の焼きリゾット クリアなスープ・ド・ポワソン

季節のサラダ コーヒー ホテル特製パンとバター